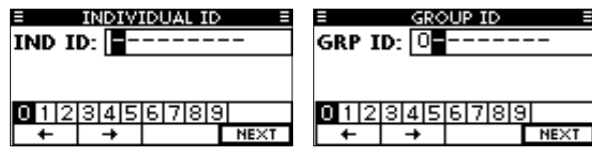


コマンドマイク

HM-195B HM-195GB

15. 個別呼び出し用ID/ グループ呼び出しIDの設定

- DSC設定メニューの「Individual ID」または「Group ID」を選択します。
- [ADD]を押します。
 - 「INDIVIDUAL ID」または「GROUP ID」設定画面が表示されます。



- 下記の操作で、任意の個別呼び出し用IDを入力します。
 - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の文字を選択します。
 - [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
 - カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
 - 1桁目に「0」、2桁目に「0」以外を指定すると、グループ呼び出し用IDとなるため、エラービープが鳴ります。
 - 上2桁に「0」を指定すると、海岸局用IDになります。
- 手順③を繰り返して、全9桁を入力します。9桁入力後に、[ENT]、またはダイヤルを押して設定します。IDネームの設定画面が表示されます。



- 下記の操作で、最大10文字のネームを入力してください。
 - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の文字を選択します。
 - [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
 - カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
 - [123]、[!\$?]、[ABC]を押して入力する文字種を選択します。
- [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して「FINISH」を選択したあと、[ENT]、またはダイヤルを押すと、ネームを設定します。「INDIVIDUAL ID」または「GROUP ID」一覧画面が表示されます。



- [MENU]を押して、メニュー画面を解除します。

本書では、IC-M510Jを例に、本製品のおもな機能と基本的な使いかたを説明しています。ご使用になる無線機によっては、一部非対応の機能、または画面や機能名、ソフトウェアキーの名称が異なる場合があります。

16. 個別呼び出し用ID/ グループ呼び出しIDの削除

- DSC設定メニューの「Individual ID」または「Group ID」を選択します。
 - IDが設定されていないときは、「No ID」を表示します。この場合は、[MENU]を押してメニュー画面を解除してください。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のIDネームを選択してから[DEL]を押します。



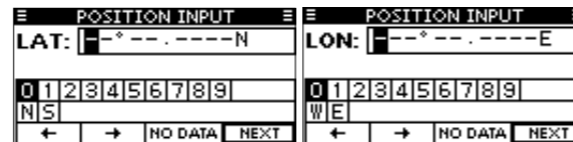
- [OK]を押すと、IDを削除して「Individual ID」、または「Group ID」一覧画面に戻ります。
 - [CANCEL]を押すと、削除を中止します。



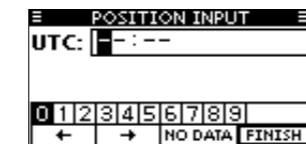
- [MENU]を押して、メニュー画面を解除します。

17. 位置情報と時刻の設定

- DSC設定メニューの「Position Input」を選択します。
- ダイヤルと[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して、緯度、経度情報を入力します。
 - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
 - [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
 - カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。
 - 北緯を入力するときは「N」、南緯を入力するときは「S」を選択します。
 - 西経を入力するときは「W」、東経を入力するときは「E」を選択します。



- 位置情報を入力したあと、[ENT]を押して登録します。
- UTC (世界協定時)時刻設定画面が表示されます。下記の操作で、UTC時刻を入力してください。
 - [▲]/[▼]/[◀]/[▶]を押して、任意の数字を選択します。
 - [ENT]、またはダイヤルを押して設定します。
 - カーソルを移動するときは、ダイヤルを回すか、「←」、または「→」を選択して[ENT]を押します。



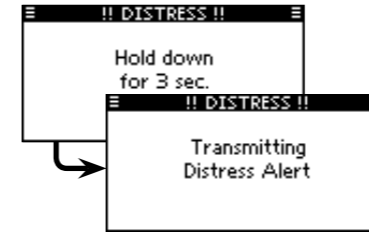
- [ENT]、またはダイヤルを押すと、位置情報と時刻を設定します。DSC設定メニューに戻ります。

18. DSCによる送信(Distress)

◇簡易呼び出し

Distressコール(遭難信号)は、3.5分～4.5分間隔で自動的に繰り返し送信されます。繰り返し送信は、受信証(ACK)を受信するか、Distressキャンセルコールを送信するまで繰り返されます。(「◇ Distressキャンセルコール」参照)

- 遭難信号を受信していないことを確認します。
- 保護カバーを上げて、[DISTRESS]を長く(約3秒)押しします。
 - [DISTRESS]を押しているあいだ、カウントダウンビープが鳴り、表示部とキーのバックライトが点滅します。
 - チャンネル70を自動的に選択し、Distressコール(遭難信号)を送信します。



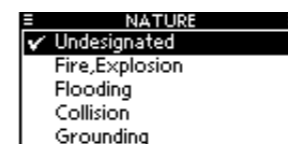
- Distressコール(遭難信号)を送信したあと、受信証(ACK)待ち状態になります。
 - [RESEND]を押すと、手動でDistressコールを繰り返し送信します。
 - [◀]、または[▶]を押してから[INFO]を押すと、送信したDistressコールの内容を表示します。
 - [◀]、または[▶]を押してから[PAUSE]を押すと、繰り返し送信を一時停止します。[RESUME COUNTDOWN]を押すと、再開します。



- 受信証(ACK)を受信したら、[ALARM OFF]を押してから、マイクロホンで応答します。Distressコール(遭難信号)には、以下の情報が含まれています。(初期設定値)
 - 遭難の種類：Undesignated distress (その他の遭難)
 - 位置情報：GPS受信機から取得した最新の位置情報、または手動で入力した位置情報を約23.5時間、あるいは電源を切るまで保持します。

◇通常呼び出し

- [DTRS]を押します。
- [ENT]、またはダイヤルを押します。
 - 「NATURE」画面が表示されます。
- ダイヤルと[▲]/[▼]を操作して遭難の種類を選択したあと、ダイヤル、または[ENT]を押します。
 - 本機で選択できる遭難の種類は、下記のとおりです。
 - Undesignated (その他の遭難)
 - Fire, Explosion (火災・爆発)
 - Flooding (浸水)
 - Collision (衝突)
 - Grounding (座礁)
 - Capsizing (転覆)
 - Sinking (沈没)
 - Adrift (操船不能/漂流)
 - Piracy (海賊の攻撃)
 - Abandoning Ship (船体の放棄)
 - Man Overboard (落水)
 - 選択した遭難の種類は、選択後、30秒間保持されます。



※ 有効なGPSデータが受信できていない場合は、「COMPOSE DISTRESS」画面で「Position」を選択し、緯度、経度、UTCを入力してください。入力について詳しくは、「17. 位置情報と時刻の設定」をご覧ください。

- 保護カバーを上げ、[DISTRESS]を長く(約3秒)押しして、Distressコール(遭難信号)を送信します。
 - [DISTRESS]を押しているあいだ、カウントダウンビープが鳴り、表示部とキーのバックライトが点滅します。
- Distressコール(遭難信号)を送信したあと、受信証(ACK)待ち状態になります。
 - [RESEND]を押すと、手動でDistressコールを繰り返し送信します。
 - [◀]、または[▶]を押してから[INFO]を押すと、送信したDistressコールの内容を表示します。
 - [◀]、または[▶]を押してから[PAUSE]を押すと、繰り返し送信を一時停止します。[RESUME COUNTDOWN]を押すと、再開します。
- 受信証(ACK)を受信したら、[ALARM OFF]を押してから、マイクロホンで応答します。Distressコール(遭難信号)には、以下の情報が含まれています。(初期設定値)
 - 遭難の種類：手順③で選択した遭難の種類
 - 位置情報：GPS受信機から取得した最新の位置情報、または手動で入力した位置情報を約23.5時間、あるいは電源を切るまで保持します

◇Distressキャンセルコール

- 受信証(ACK)待ち状態のあいだに、できるだけ早く[CANCEL]を押します。
 - キャンセル確認の画面が表示されます。



- [OK]を押します。
 - Distressキャンセルコールが送信され、自動的にチャンネル16に移行します。
 - [CANCEL]を押すと、受信証(ACK)待ち状態に戻ります。



- [PTT]を押し続けると、キャンセルの目的が通知されます。※キャンセルの文言を表示させるときは、[▼]を押します。
- 通信が完了したら、[Finish]を押します。
 - キャンセルの画面が表示されます。
- [STBY]を押して、Distressキャンセルに伴う通話を終了します。

19. DSCによる送信(Distress以外)

DSC機能を正しく動作させるために、「CH70 SQL Level」設定を確認してください。(「20. DSC設定」参照)

◇個別呼び出しの送信

- DSCコールメニューの「Individual」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、登録されている任意の個別呼び出し用ID、または「Manual Input」を選択したあと、[ENT]を押します。
 - 個別呼び出し用のIDは、事前に登録できます。(「15. 個別呼び出し用ID/グループ呼び出しIDの設定」参照)
 - 「Manual Input」を選択したときは、呼び出したい任意の船舶局のID(9桁)を入力します。
- ご注意：**
手順②で海岸局を選択した場合、DSCコール後の音声通話チャンネルは海岸局から指定されます。
そのため、手順③の操作は不要となりますので、手順④を操作してください。
- ダイヤル、または[▲](CH)/[▼](CH)を操作して、任意のIntershipチャンネル(船舶間通話チャンネル)を選択し、[ENT]を押します。
 - Intership CH(船舶間通話チャンネル)は、あらかじめ推奨する順番で設定されています。
- [CALL]を押して、個別呼び出しを送信します。
 - 「Transmitting Individual Call」が表示されたあと、「Waiting for ACK」と表示されます。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- 「Able to comply」で受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴って、以下の画面が表示されます。
[ALARM OFF]を押してアラームを止めます。



- 手順③で選択したIntership CH(船舶間通話チャンネル)が自動で割り当てられます。
- 呼び出した船舶局が指定したIntership CH(船舶間通話チャンネル)を使えない場合は、異なるIntership CH(船舶間通話チャンネル)が選択されます。
- マイクロホンで応答します。
手順⑥に進みます。

「Unable to comply」で受信証(ACK)を受信した場合は、アラームが鳴って以下の画面が表示されます。



- [ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
そのあと、[STBY]を押して、通常画面に戻ります。
※メニュー画面を選択する前の状態に戻ります。
- 通話後、[STBY]を押して通常画面に戻します。

◇個別呼び出しの受信証を送信する

- 個別呼び出しの受信中に[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
 - [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に進みます。
- [ACPT]を押します。

- 3つの選択肢から1つを選んで[ENT]を押します。



- [ABLE] (Able to Comply) :**
受信したチャンネルで通話許可の受信証(ACK)を送信
 - [UNABLE] (Unable to Comply) :**
通話を許可しない受信証(ACK)の送信
 - [NEW CH] (Propose New Channel) :**
指定チャンネルで通話許可の受信証(ACK)を送信
- 確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、受信証(ACK)を送信します。
 - マイクロホンで応答します。
 - [STBY]を押して通常画面に戻します。

◇グループ呼び出しの送信

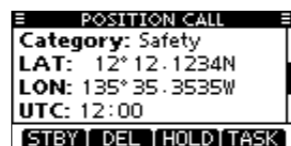
- DSCコールメニューの「Group」を選択します。
- 登録されている任意のグループ呼び出し用IDを選択するか、「Manual Input」を選択したあと、呼び出したいグループID(8桁)を入力します。
- 任意のIntershipチャンネル(船舶間通話チャンネル)を選択します。
- [CALL]を押して、グループ呼び出しを送信します。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- マイクロホンから伝えたい情報をアナウンスします。
- アナウンスが終われば、[STBY]を押して通常画面に戻します。

◇全船呼び出しの送信

- DSCコールメニューの「All Ships」を選択します。
- 任意のカテゴリ(分類)を選択します。
 - 設定によって、選択できるカテゴリ(分類)は異なります。
 - 選択できるカテゴリ(分類)については、接続している無線機と同じになります。
- Trafficチャンネル(通信チャンネル)を選択します。
- [CALL]を押して、全船呼び出しを送信します。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- マイクロホンから伝えたい情報をアナウンスします。
- アナウンスが終われば、[STBY]を押して通常画面に戻します。

◇ポジションリクエストの送信

- DSCコールメニューの「Position」を選択します。
- 登録されている任意の個別呼び出し用IDを選択するか、「Manual Input」を選択したあと、呼び出したい船舶局のID(9桁)を入力します。
- [CALL]を押して、ポジションリクエストを送信します。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴ります。
- [ALARM OFF]を押してアラームを止めます。
以下の画面が表示されます。



- [STBY]を押して、通常画面に戻します。

19. DSCによる送信(Distress以外)

◇ポジションリクエストリプライの送信

- ポジションリクエストを受信すると、アラームが鳴ります。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
 - [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に進みます。
- [ACPT]を押します。
- 応答したいポジションリクエストを選択します。
 - [ABLE] (Able to Comply) :**
応答許可を送信する
 - [UNABLE] (Unable to Comply) :**
応答できないことを送信する
- ポジションリクエストリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。
- 応答を送信したあと、通常画面に戻ります。

◇テスト呼び出しの送信

- DSCコールメニューの「Test」を選択します。
- 登録されている任意の個別呼び出し用IDを選択するか、「Manual Input」を選択したあと、呼び出したい船舶局のID(9桁)を入力します。
- [CALL]を押して、テスト呼び出しを送信します。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴ります。
- [ALARM OFF]を押してアラームを止めます。
- [STBY]を押して、通常画面に戻します。

◇テスト受信証の送信

- テスト呼び出しを受信すると、アラームが鳴ります。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
 - [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に進みます。
- [ACPT]を押します。
- テスト受信証(ACK)の確認画面が表示されます。
- [CALL]を押して、受信証(ACK)を送信します。
 - 受信証(ACK)を送信したあと、通常画面に戻ります。

◇ポーリングリクエストの送信

- DSCコールメニューの「Polling」を選択します。
- 登録されている任意の個別呼び出し用IDを選択するか、「Manual Input」を選択したあと、呼び出したい船舶局のID(9桁)を入力します。
- [CALL]を押して、ポーリングリクエストを送信します。
 - ほかの船舶局がチャンネル70を使用している場合は、その通信が終了するまで待機します。
- 受信証(ACK)を受信すると、アラームが鳴ります。
- [ALARM OFF]を押してアラームを止めます。
- [STBY]を押して、通常画面に戻します。

◇ポーリングリクエストリプライの送信

- ポーリングリクエストを受信すると、アラームが鳴ります。
[ALARM OFF]を押して、アラームを止めます。
 - [ALARM OFF]を押さなくても、約2分後にアラームが止まり、手順②に進みます。
- [ACPT]を押します。
- [ACK]を押します。
- ポーリングリクエストリプライの確認画面が表示されます。
[CALL]を押して、応答します。
- 応答を送信したあと、通常画面に戻ります。

20. DSC設定

◇自動応答機能について

- DSC設定メニュー から、「Auto ACK」を選択します。
- 「Individual ACK」、「Position ACK」、「Polling ACK」、または「Test ACK」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Auto」、または「Manual」を選択してから、[ENT]を押します。
 - 「Individual ACK」は「Auto (Able)」、「Auto (Unable)」、または「Manual」を選択します。
 - 「Position ACK」は「Auto (Able)」または「Manual」を選択します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

◇チャンネル自動切り替え機能

- DSC設定メニューから、「CH Auto Switch」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Accept after 10 sec.」、「Ignore after 10 sec.」、または「Manual」を選択してから、[ENT]を押します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

◇DSCデータ出力について

- DSC設定メニューから、「DSC Data Output」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「All Stations」、「Station List」、または「OFF」を選択してから、[ENT]を押します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

◇アラーム設定

- DSC設定メニューから、「Alarm Status」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、任意のカテゴリ、あるいはステータスを選択してから、[ENT]を押します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
 - 「Safety」、「Routine」、「Warning」、「Self-Terminate」、および「Discrete」から選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「ON」、または「OFF」を選択してから、[ENT]を押します。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

◇チャンネル70のスケルチレベル

- DSC設定メニューから、「CH 70 SQL Level」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]/[◀]/[▶]を操作して、ノイズが聞こえなくなるレベルに調整し、[ENT]を押します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

◇セルフチェックテスト

- DSC設定メニューから、「Self Check Test」を選択します。
- [ENT]を押すと、テストが開始されます。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
 - 送信DSC信号と、受信DSC信号が一致すると、「OK」を表示します。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。

手順②で「NG」を表示するときは、無線機の送信、または受信、あるいは両方のDSC回路に異常があります。
この場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターに無線機の修理をご依頼ください。

◇DSCタスク設定

- DSC設定メニューから、「Procedure」を選択します。
- ダイヤル、または[▲]/[▼]を操作して、「Single」、または「Multiple」を選択してから、[ENT]を押します。
 - [CLEAR]を押すと、設定を中止してDSC設定メニューに戻ります。
- [MENU]を押すと、通常画面に戻ります。